

女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ運営協議会事務局
〒500-8812 岐阜市東江寺町
2-9 岐阜市消防本部予防課内
☎058-262-7163
令和2年11月1日号
(通算第43号)



秋の火災予防運動

11月9日から11月15日

全国統一防火標語

その火事を防ぐあなたに金メダル



十一月九日から十一月十五日までの間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。今年度の統一防火標語は『その火事を防ぐあなたに金メダル』です。

岐阜市消防本部では、岐阜市消防協会、岐阜市危険物安全協会及び岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを約四千枚作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼びかけています。この機会に是非、あなたの家庭でも火災予防について考えてみましょう。

今年の火災概況

一月一日から六月三十日までの上半期、岐阜市内で発生した火災は五十九件で、前年の同時期と比較すると二件増加となっています。

出火原因は「放火・放火の疑い」が十二件で最も多く、次に「電気関係」が十件、「たき火」「たばこ」が各七件でした。

火災による死者は三人で、前年の同時期と比較すると三人増加、負傷者は十一人で、五人増加となりました。

火災件数の内訳は、建物火災が最も多く、三十六件発生しています。

火災による損害額は約七千五百万円で、一日当たり約四十一万円の財産が焼失したことになります。

新しい生活様式（ウィズコロナ）の実践により、在宅する時間が増えることで自宅で食事を作られる方も多くなり、こんろなどの火気を使用する機会も増えていると思います。

こんろなどの火気を使用する際は、十分に注意しましょう。

火災を無くして安心・安全な街をつくりましょう。

火災予防運動に関連する主な行事予定

「火災予防に関するポスター募集」 入選作品の展示

岐阜市の少年消防クラブ員や市内の学校に通学する児童から募集した火災予防に関するポスターについて、厳正な審査の結果入選された優秀作品を展示しますので、是非ご覧ください。

なお、例年行っております表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

・ 十月二十九日（木）

十一月一日（日）

ぎふメディアアコスモス

ドキドキテラス

（岐阜市司町四十・五）

・ 十一月七日（土）

十一月十五日（日）

カラフルタウン岐阜

ABCマート前通路付近

（岐阜市柳津町丸野三・三・六）

各地区の女性防火クラブから

「島女性防火クラブの活動」

島女性防火クラブ

会長 森 けい子

島女性防火クラブは、単位自治会女性部代表者の七十名と女性サポーター（過去に活動に参加し、その後も協力の七名で構成されています）

現在は、「コロナ禍」の影響で活動が制限されていますので、例年の活動内容を紹介します。

①「島地区総合防災訓練」に協力

島地区では毎年六月初旬に開催されます。当日は、島小学校児童・先生も土曜授業の一環として参加し、保護者と一緒に関各地域から避難してきます。朝八時過ぎには、二千人以上の方がグランドに集合します。総合訓練は岐阜市では初めてのシヨットガン方式を平成二五年六月から取り入れ、参加者全員が八グループに分かれ「防災資機材展示」「地震体験車」「心肺蘇生」「バケツリレー」「スローバック・土嚢作成」「三角巾」「煙体験」「水消火器」を順番に体験していきます。開始は八時三〇分から、終了は十時の一時間半の訓練で、最後に消防団（島分団）による放水訓練があります。

女性防火クラブは、この訓練の前に北消防署島分署の指導で防災講習会を

開催。AEDの使用方法等の指導を受け、当日は訓練人形二十五体すべてに一名ずつ付き、「心肺蘇生」の指導を担当します。また、炊き出しは八時三〇分からハソリ鍋三個に薪を使って湯を沸かし、三十八名でアルファ米約二千三百食のパック詰めをして、十時の訓練終了時には全員に配布します。

②毎年八月第一日曜日「島合同DIG訓練」開催

毎回、各種団体と合同で開催。百名以上が参加しています。

③「島合同防災視察研修会」参加

毎年八月最終日曜日に開催。女性防火クラブが企画・運営します。

④その他 消防本部主催の研修会等に参加。

主だった活動は以上です。女性防火クラブの活動もままならない今日この頃です。『こんな時、災害が発生したら・・・』と必要以上に心配してしまいます。早く「コロナ」が収束して、いつもの生活が戻ることを願っています。

「大好きな私の地域」

芥見東女性防火クラブ

会長 後藤 美津子

私は、この女性防火クラブに携わって通算十一年になります。会長としては六年目を迎えます。大変なこともたくさんありましたが、今は皆さんの笑顔を見ると、続けてきてよかったと思っています。私はモットーとして、防災は自分の問題としてそれぞれが意識して準備することを考えています。ある程度知識は必要です。しかも、学ぶことが楽しくないと人は集まりません。

会長として参加者の方々に喜んでもらえる内容にしていきたいといつも心に念じて動いているつもりです。

芥見東は岐阜市東部に位置し、人口約五千七百人、岐阜市で第二位の高齢化地域です。

平成二九年までは、自治会連合会が中心となり各種団体が活動してきましたが、平成三〇年に街づくり協議会が結成され、三十五の組織で成り立ち、女性防火クラブはその中の一団体です。十二支部から選出されたクラブ員と事務局で構成され、今年は六十名で活動しています。クラブ員は毎年変わるため、全員で東分署に出向き、初期消火、バケツリレー、三角巾、竹担架などの実技を教えて頂きます。さらに、学ん

だことを人に教えられるようにしっかりと訓練をして頂きます。芥見東自主防災訓練は、消防団、水防団、日赤奉仕団、市民消防隊の方々と協力し合い、炊き出しは自治会連合会が中心となり女性防火クラブ数名と地域の方を巻き込んで実施しています。

毎年行っている芥見東女性防火クラブの研修会の折、空き時間にクラブ員二人でフルートと二胡の演奏したことがありますが、これが好評だったことがきっかけで、有志による楽団が結成されました。音楽は人と人をつなぎます。防火は、人と人との助け合いで成り立ちます。今でもOBの方が参加してくださり、絆を深めています。

今年にはコロナの関係もあり、実質的な活動はできていませんが、女性防火クラブの中で避難所運営役員会を立ち上げ、自治会連合会と協力して着々と準備を進めています。

芥見東は、絆を大切にしている地域です。そんなあなたがかい地域が大好きです。そして、一人一人がこの時期を乗り切り、前進して欲しいと願っています。

